



## 9月議会

子育て支援について

問 県民の所得が上がる、あるいは家族との触れ合いの時間が多く確保できるなど、お金にかえがたい価値が得られるなど、島根県が働きやすく、子育てに参加しやすい環境を整えています。

問 学校教育では、政治に参加する意識を高めることの大切だと考えており、制度について理解させると同時に、子どもたち自身が身近な地域の問題について考えていく取り組みを通じて、その重要性を伝えまいります。具体的には、隠岐島前高校や、松江北高校の地域課題研究など、地域社会の課題を発見してその解決について主体的に考える、そういう取り組みを県内の高校全体に広げています。

答 条例制定を機に、この協議会をベースにしている若手の経営者や女性の経営者の方々などから意見を聞く、あるいは地域経済牽引するとか若者であるとか、そういう皆さんを巻き込んだ議論を開いていただきたいと考えるか?

い。設けるべき振興推進協議会を設けていきた



○発行日:2016年4月 ○発行者:岩田ひろたか事務所 ○住所:〒690-0884 松江市南田町105 TEL:0852-24-2323

## 2016年度は総合戦略達成に向けた実行の1年に

皆さんこんにちは。島根県議会議員の岩田ひろたかです。昨年春の県議会議員選挙で2度目の当選させていただき、県議として2期目の議席をお預かりいたしました。2期目の昨年度は、初当選以来一貫して掲げる「すべての基本は人づくり」の視点を軸に活動してきました。2月から約1か月に及ぶ定例議会の中で、2016年度の施策・予算について審議してまいりました。本県では、人口減少に歯止めをかけ、しまねの地方創生を目指す戦略として「まち・ひと・しごと創生島根県総合戦略」を昨年10月19日に策定しました。人口減少に歯止めをかけるためには、2040年までに合計特殊出生率2.07と社会移動の均衡を実現する必要があります。そのため、総合戦略に次の4つの基本目標と掲げています。

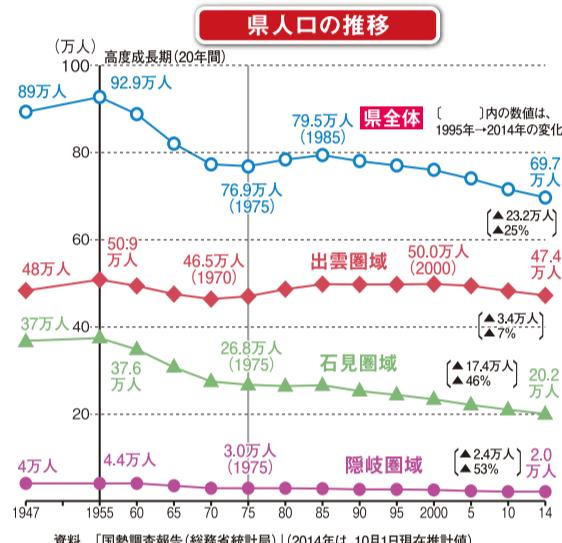
- 基本目標1**／しごとづくりとしごとを支えるひとづくり
- 基本目標2**／結婚・出産・子育ての希望をかなえる社会づくり

### ●基本目標3／しまねに定着、回帰・流入するひとの流れづくり

### ●基本目標4／地域の特性を活かした安心して暮らせるしまねづくり

これらの目標を軸に「子育てしやすく活力ある地方の先進県しまね」の実現に向け、私も全力で取り組んでいく決意です。

この「島根県総合戦略」の策定に当たっては、若い世代の視点や子育て世代の視点をどのように盛り込むか、みなさんから頂いたご意見をもとに、議会活動を通して執行部とやり取りを繰り返しました。スローガンが盛り込まれた若い世代を応援するという県の姿勢が伝わるものに仕上がったことは本当に嬉しい限りです。しかし、計画が「絵に描いた餅」では意味がありません。2016年度からは計画の具体化が求められます。これからも皆さんの声に耳を傾け、若い世代や子どもたちが希望を抱ける島根をつくるために頑張ります!



島根県の人口は、昭和30年（1955年）の92万9千人をピークに、昭和50年（1975年）頃までの高度成長期における大都市への人口流出により大きく減少しました。また、県内でも地域的な違いがあり、松江市、出雲市など比較的大きな都市がある出雲圏域における人口減少はわずかです。その一方、インフラ整備が遅れ、産業基盤が弱い石見・隠岐圏域では、

## 若い世代の視点を反映 総合戦略で大きな成果！

- 基本目標1**／しごとづくりとしごとを支えるひとづくり
- 基本目標2**／結婚・出産・子育ての希望をかなえる社会づくり
- 基本目標3**／しまねに定着、回帰・流入するひとの流れづくり
- 基本目標4**／地域の特性を活かした安心して暮らせるしまねづくり

- ト  
①**結婚支援**  
特定不妊治療費助成の増額と、男性への不妊検査、不妊治療への助成得と復職に取り組む中小・小規模事業者の支援
- ②**不妊治療支援**  
出産した従業員の育児休業の取扱いを改善します。方針が示され、私も大きな期待を寄せています。
- ③**仕事と子育ての両立支援**  
出産による男女の縁結びのサポートによる開設による男女の縁結びのサポート

- ト  
①**結婚支援**  
しまね縁結びサポートセンター（H）による開設による男女の縁結びのサポート
- ②**サポートの充実**  
放課後児童クラブの整備の支援
- ト  
①**結婚支援**  
しまね縁結びサポートセンター（H）による開設による男女の縁結びのサポート
- ②**サポートの充実**  
放課後児童クラブの整備の支援

- ト  
①**保育サービスの充実**  
所得の低い世帯における3歳未満の第1子、第2子に係る保育料を軽減するための市町村交付金の創設
- ②**保育を受けることができる環境の整備**  
○待機児童ゼロを目指して、受入体制を拡充する保育所等の支援
- 病児・病後児保育の開設、運営の支援
- 放課後児童クラブの整備の支援

島根県議会の重要な役割の一つは予算の審議です。特に2月議会においては新年度予算の審議がありました。当初予算は、島根県が1年間どのような施策に力を入れ、限られた予算を執行していくのかを方向けた重要な意味を持ちます。予算編成を通じて執行部の考え方を質し、県民の声をいかに反映させていくのか。議員としても身の引き締まる思いで審議に臨んでいます。

平成28年度当初予算は、①地方創生・人口減少対策の推進②安全安心な県土づくり③安定した生活を支える公共サービスの充実を大きな柱に一般会計は総額5,202億円で、前年度と比較して1.8%減となりました。予算減という非常に厳しい予算というイメージを抱かれるかもしれません。昨年度までの災害復旧が一段落したことなどが予算減の主な要因であり、必要な県民サービスは、最低限確保さ

- 歳出予算の概要**  
○前年度から増額となつたものは、総務費257億円→294億円に減少して680億円→607億円になります。
- 歳入**

○自主財源（県税など）が自動的に収入を確保することができる財源（公債費854億円→747億円（12.5%、107億円の減額）、商工費776億円→731億円（5.8%、45億円の減額））土木費748億円→722億円（3.5%、26億円の減額）、災害復旧費83億円→63億円（24.0%、20億円の減額）などとなっています。

予算の3つの柱は、1つ目の柱として「まち・ひと・しごと創生・島根総合戦略」に基づく地方創生・人口減少対策に782億円が充てられていて、この中には①県内で安心して働ける雇用の場が増えるよう、産業の振興や仕事の確保を推進・働く人の確保・育成や、就業に支援が必要な人たちへの支援を行うとともに、若者の就業定着を促進・産業振興の基盤をつくるため、高速道

れたと言えそうです。

## 新年度予算は総額5,202億円

